

2022年12月21日
公益財団法人イオン環境財団

第6回イオン生物多様性みどり賞 受賞者の活動を紹介 ～生物多様性条約COP15～

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役 代表執行役会長 以下当財団）は、2022年12月7日から19日までカナダ・モントリオールにて開催された、国連生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）にて、2020年に顕彰した第6回イオン生物多様性みどり賞受賞者の活動を紹介しました。

また、COP期間中に開催されたユースイベントでは、第1回イオン生物多様性みどり賞の受賞者ジャン・ルミール氏（生物学者・探検家・映画製作者／カナダ）、第6回受賞者メリーナ・サキヤマ氏（生物多様性グローバルユースネットワーク共同創設者／ブラジル）による、生物多様性に関する対談が行われました。

本賞は、当財団と国連環境計画生物多様性条約事務局（以下 SCBD）が生物多様性の保全、持続可能な利活用、普及・啓発・共有に関して、顕著な功績のある個人を顕彰するために2010年創設されました。当財団とSCBDは、2010年本賞の顕彰ならびに、環境教育の推進について、連携を締結し、本賞は本連携事業の一つとなります。

当財団は、名古屋でCOP10が開催されることを機に、顕彰を通じて生物多様性の保全に積極的に関与し、今後も受賞者と連携を深めながら、いのちあふれる美しい地球を次世代に引き継ぐため、環境活動を推進してまいります。

第6回イオン生物多様性みどり賞 受賞者(2020年)

(アルファベット順)

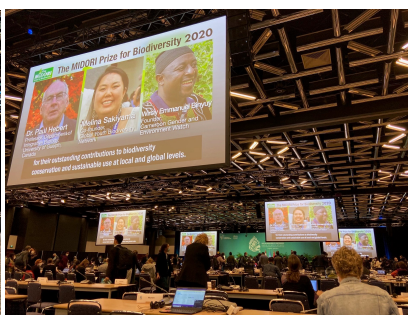
ポール・エペール氏	カナダ ゲルフ大学 統合生物学部教授
メリーナ・サキヤマ氏	「生物多様性グローバルユースネットワーク」共同創設者
ウィルシー・エマニュエル・ビニユイ氏	環境活動団体「カメルーン ジェンダー・環境ウォッチ」創設者

活動紹介動画は下記当財団ホームページからご覧いただけます

<https://www.aeon.info/ef/prize/midori/winner/>



生物多様性条約COP15で受賞者の紹介



ユースイベントでの対談

以上

ご参考

【生物多様性みどり賞 The MIDORI Prize for Biodiversity 受賞者について 歴代受賞者】

・第1回(2010年)

ジャン・ルミール氏
グレッチェン・C・デイリー氏
エミル・サリム氏

生物学者、探検家、映画製作者(カナダ)
スタンフォード大学 教授(アメリカ)
インドネシア大統領諮問会議 議長・
元インドネシア人口・環境大臣(インドネシア)

(国際生物多様性年) 特別賞

アンゲラ・メルケル氏

ドイツ連邦共和国首相(ドイツ)

・第2回(2012年)

フアン・カルロス・カスティージャ氏
ロドリゴ・ガメス＝ロボ氏
ボ・クイ氏

チリ カトリカ大学 教授(チリ)
コスタリカ生物多様性研究所 代表(コスタリカ)
ベトナム国家大学ハノイ校 自然資源管理・環境研究
センター名誉総長(ベトナム)

・第3回(2014年)

カマル・パワ氏

アルフレッド・オテング＝イエボア氏
ビビアナ・ヴィラ氏

アショーカ生態学環境研究トラスト 代表、
マサチューセッツ大学 ボストン校 特別教授(インド)
ガーナ生物多様性委員会 議長(ガーナ)
ビクーニャ/ラクダと環境 学際研究プロジェクト 代表
アルゼンチン学術研究会議 主席研究員(アルゼンチン)

・第4回(2016年)

アルフォンソ・アギーレ＝ムニョス氏
ユーリ・ダーマン氏
ヴァンダナ・シヴァ氏

島嶼(とうしょ)生態系保全グループ事務局長(メキシコ)
世界自然保護基金ロシア アムール支所所長(ロシア)
ナウダーニャ 創設者・代表(インド)

・第5回(2018年)

キャシー・マッキノン氏
アサド・セルハル氏
アブドゥル・ハミド・ザクリ氏

国際自然保護連合 世界保護地域委員会議長(イギリス)
レバノン自然保護協会事務局長(レバノン)
前マレーシア首相科学顧問(マレーシア)

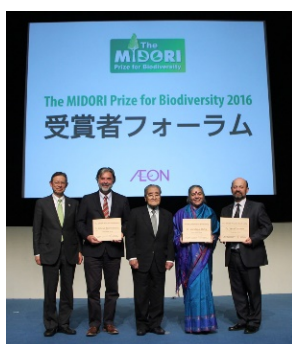
・第6回(2020年)

ポール・エベール氏
メリーナ・サキヤマ氏
ウィルシー・エマニュエル・ピニューイ氏

カナダ ゲルフ大学 統合生物学部教授
「生物多様性グローバルユースネットワーク」共同創設者
環境活動団体「カメルーン ジェンダー・環境ウォッチ」創設者



第3回受賞式(2014年)



第4回受賞式(2016年)



第5回受賞式(2018年)